

いただく場合もあります。また、適切な支援方法を検討するために必要に応じて面接や心理検査あるいは行動観察等を実施したり、必要があれば専門機関を紹介させていただくこともあります。支援内容により、保育所、学校、作業所、障害者職業センター、病院、市町村の福祉課等と連携を図り、関係者や利用者を交えて調整会議を開催することもあります。地域で自閉症児・者等の人々を支援している方への支援とも言えましょうか、保育所や学校あるいは作業所等への訪問支援をすることもあります。本人やご家族の同意の下にいわゆる事例検討や事例相談にも応じます。

また、障害の早期発見・早期療育が必要不可欠なことはいうまでもありません。自閉症等の発達障害児・者は、その特異的な障害があるがゆえに生活のしづらさや誤解されることが多々あります。障害に対する正しい認識や理解、障害に特化した指導方法や対応の仕方が求められます。そのため保健師、保育士、教師、福祉施設職員、一般市民の方を対象にした研修会や講演会等を開催しています。

自閉症等発達障害の人が地域で生活するためのお手伝いをさせていただくことが支援センターの存在理由であると考えています。

**ご利用を希望される方は
まずお電話ください**

★三重県自閉症・発達障害支援センター
県立小児心療センターあすなる学園内
津市城山1丁目12番3号
TEL・FAX 059-234-6527

★あさけ学園
三重郡菟野町杉谷1573
TEL 0593-94-1595
FAX 0593-94-1985

★れんげの里
度会郡大宮町滝原字沼1195-1
TEL 05988-6-3911
FAX 05988-6-3322

★ 新任医師のご紹介

いずもと
泉本 雄司 医師



はじめまして。今年の10月から勤務しています。出身は神戸市ですが高知県の大学に進学して、卒後、医師となってからも主に高知県で働いていました。卒後入局した大学の教室は、心理社会的治療に力を入れており、家族の心理教育、介入、生活療法といったことを意識した教育を受けました。また、薬物療法のみならず心理療法や精神療法が重要であるということも教わり、また実践してきましたので、精神科治療の中で特に偏ったような志向性は持っていません。ここ3年程は母校の大学病院でいろんな患者を診ながら、思春期専門外来をしておりました。前に勤務していた大学病院では、時に子どもの入院がありましたが、大人の患者達に混ざった中での治療でした。よって、治療も大人との関係の中に限定されたものになります。あすなる学園では、病棟で友達や仲間との関わりがあり、やればできる、友達ともうまくやれる、という体験を積むことができ、それがいかに子どもの心の発達にとって大切かということを改めて実感し、また、それを支えることのできる病院のシステムに驚きました。また、病院内のみならず地域で多職種が連携して子ども達に関わっており、職種や立場は違うけれど、相互に尊重しあって子どものために取り組んでいる姿を目の当たりにして、チーム医療というものがこれまで経験した以上に子どもの医療においては大切なことであるということを感じました。あすなる学園にきて2ヶ月足らずですが、毎日新しい経験の連続です。年齢は微妙なところですが、新鮮な気持ちでこれから皆様と一緒に仕事をしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。